

I. 事業評価総括表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	屈折はしご付消防ポンプ自動車点検事業	新宮市	4,400,000	4,400,000	36,147,600

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	屈折はしご付消防ポンプ自動車点検事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		新宮市
交付金事業実施場所		新宮市新宮
交付金事業の概要		平成22年度に整備し、9年が経過する屈折はしご付き消防ポンプ自動車を適正に運用するため、「消防車両（はしご自動車）の安全基準」に基づき、分解点検（オーバーホール）を行いました。
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>&lt;交付金事業に関する主要政策・施策&gt;            第2次新宮市総合計画（平成30～39年度）            政策目標1 安全・安心に暮らせるまち            政策 2 安心な暮らしの実現            施策 2 消防・救急体制の充実            主な取り組み1 消防体制の充実強化を図ります。            （1）消防力の充実</p> <p>&lt;目標&gt;            消防体制の施策に対する市民満足度（平成33年度）</p>

事業開始年度	令和元年度	事業終了年度	令和元年度			
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和元年度
	適切な設備点検による防災体制維持		成果実績	%		—
			目標値	%		—
			達成度	%		—
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後早期に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価					
	政策目標にある「安全・安心に暮らせるまち」に資するため、消防車両（はしご自動車）の安全基準に基づきオーバーホールを実施したことで消防体制が維持されました。					
	成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	元年度		
	オーバーホール		活動実績	台	1	
			活動見込	台	1	
			達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	元年度	年度	年度	備考		
総事業費	36,147,600	0	0			
交付金充当額	4,400,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,400,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
はしご車オーバーホール		随意契約（特定）		有限会社ワカボー 代表取締役社長 川 壽修司（田辺市）		36,147,600
		計				36,147,600
交付金事業の担当課室	消防本部庶務課					
交付金事業の評価課室	企画調整課					